

市議会
一般質問

6月23日から始まった瑞穂市市議会定例会一般質問において、先頭バッターとして登壇し質問を行いました。今回の質問内容は、大きく分けて「グローバル化対応教育の推進」と「地方創生加速化交付金申請事業」についての2点でした。

【ICT教育推進】

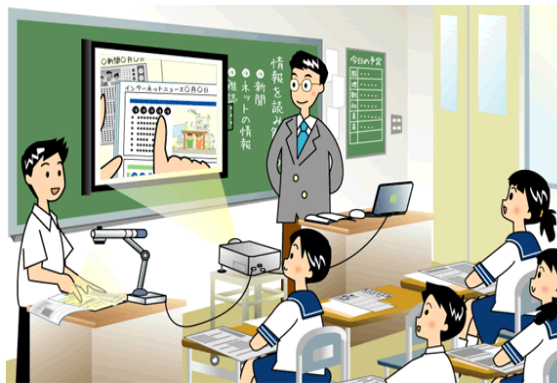
文部科学省は、子どもたちが、国際競争や技術革新が絶え間なく続く二十一世紀を生き抜くためには、ICT（情報通信技術。INFORMATION AND COMMUNICATION TECHNOLOGYの略称）を活用し、課題を解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けると共に、自ら課題を発見・設定し、その解決に向けて主体的協働的に探究していく姿勢を育むことが大切であるとしている。また、瑞穂市において

も、第2次総合計画のなかに「ICT教育推進事業」を重点施策として掲げてあるが、具体的に当市として導入していくICT教育機器について加納博明教育長に質問したところ、「電子黒板・実物投影機・タブレット端末と電子教科書を優先的に、実施計画のもと各学校に順次導入していきたい」との答弁をいただきました。

また、ICT教育機器を実際に活用して授業を行う教員をどのようにサポートしていくかまで関連づけ研究しているのか？岐阜市では、電子黒板の導入に備え、3年前から若手教員でつくるICT教育研究グループを立ち上げ、電子黒板を使う教員のスキルアップに努めたとあります。導入に際しては、教員のスキルアップが不可欠の思いからその確認の質問をしましたところ、「先進校の教員などを講師に招いた講習会の開催を考えている」との答弁をいただきました。

た。

なお、瑞穂市のICT教育は、10年遅れているとの声もあり、危機感を持ち、来たる大学入試制度改革を見据え、当市の子どものための「そうかわかったよ」「わたしにもできたよ」という声がより一層教室中にあふれるようICT教育の充実のため、棚橋市長に果敢なる予算配分を求めました。



図：児童生徒がICTを活用して発表する例
(自分の考えをインターネットや新聞から得られた情報をもとに説明している)

【英語力の充実】

グローバル化対応教育の推進に際し、ICT教育関連のほか、児童、生徒の英語

力の一層の充実の必要性から、その充実策を教育長に質問したところ、「6人のALT（外国語指導助手）を雇用し、小中学校や幼稚園に派遣している」との現状説明と共に、2020年度から英語が小学校5年、6年生で教科化されることを機に「小中学校の英語科教員が英語力を高められる研修を受けられるようにする。朝日大学と連携し、中学生が留学生の英語に触れる機会を設けたい」との答弁をいただきました。

国は、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策として、地方創生加速化交付金を創設し、当市ではその交付金対象事業に「穂積駅圏域拠点化構想策定事業」と「広域公共交通ランドデザイン等検討事業」が選ばれました。そこで、課題があまりにも多いため、早急な整備の重要性を強く認識されつつも、棚

皆様の想いをかたちに！

上げ、あるいは先送り状態に陥っている当市の長年の懸案事項JR穂積駅周辺のまちづくり、いわゆる駅再開発事業について、私はこの2つの交付金事業を、公共交通、特に「コミュニティバス」をキーワードとして互いにリンクさせることにより、穂積駅再開発事業を大きく進める起爆剤となるのではと考えてならず多くの点について質問しました。

【穂積駅圏域拠点化構想策定事業】

策定期間、審議会等の構成など基本的な枠組みや計画について、藤井忠直政策企画監に説明を求めたところ、「15万人圏域の中心駅に穂積駅を位置付け、機能や拠点性、圏域公共交通の結節点として利便性を高めたい」と述べた上、「駅周辺の自治会、市民、大学、商工会の関係者らをメンバーとする協議会を設立し、年度内に構想を策定する」との答弁をいただきました。

穂積駅の利便性向上 圏域公共交通の結節点に

ました。

なお、短期間で駅利用者や地権者を対象者とした駅周辺の現状把握を行い、分析結果による課題を踏まえたダイナミックな拠点化構想の立案を協議会のメンバーのみで行うことが可能なのか不安を感じました。通常はこのような立案には、実績に裏付けられた企画力・技術力専門性を有するコンサルタント会社などによる提案があり、それをたたき台として、協議会が考察するのが常だとの考えを企画監に尋ねたところ、「安い価格を提示した者を選定する一般又は指名による競争入札方式、過去に実績のある者から選定する随意契約方式でなく、公募または指名により複数の者から目的に合致した企画を提案してもらい、その中か

ら企画提案能力のある者を選ぶプロポーザル方式による業務委託業者の選定を行う」との答弁をいただきました。

そして、瑞穂市全体の人口が増加している半面、穂積駅からおよそ半径600m以内、駅へ徒歩約8分以内と恵まれたエリアにおいて、人口が減少している現状を踏まえ、穂積駅のごく一部の地域において、にぎわいを創出できたとしても、足元の定住圏域の形成がなされず空き家ばかりで有効活用されない状態の打開策を、拠点化構想策定の中に入れていただくよう強く要望しました。

【路上喫煙禁止区域】

駅周辺の美観や小さなお子さんや高齢者をはじめとする駅利用者の方々の

安全確保（火傷・衣服の焦げなど）、火災、そして、たばこの煙による迷惑行為を踏まえ、たばこを持つことを含む喫煙について、「分煙」の立場をとり、規制することを視野にいれているかと質問したところ、市の玄関口として魅力を上向させる施策の一つに「駅周辺に路上喫煙禁止区域を設けることを検討したい」との考えを明らかにしました。

編集後記

今回はじめて経験した「一般質問」には、市の執行部の、政治姿勢を明らかにし、その責任を明確にすることで現行政策を是正・変更させ、新規政策を採用させることができる力がある。

次回もその認識を持ち、議会に取り組んで行く所存です。

